



「くらし・区政アンケート」に寄せられた声 (抜粋)

●くらしについて

- ・フリーランスで仕事をしていたため、コロナで仕事も収入もほぼなくなり、これからの生活が本当に心配です。(50代・夫婦・子ども2人)
- ・医療費の負担増に加え、消費税増勢が家計を圧迫し、預金を取り崩す生活。(70代・夫婦)
- ・賃金の減少と解雇があった。そんな中子どもたちは学校もない。生活のために働きたいが、預け先がなかった。(30代)

●新型コロナウイルス対策で区政に求めること

- ・無症状でも検査を受けられるようにしてほしい。(50代)
- ・区内のミニシアターを守ってほしいです。小さな美術館もなくなるのではないでほしいです。(50代)
- ・日本のPCR検査数が発展途上国以下のレベルなので、他の先進国のように自動化して、機械で1度に何件も処理できる体制に切り替えてもらえないでしょうか。せめて渋谷区も世田谷区のようにPCR検査をいつでも無料で受けられるようにしていただけないでしょうか。(50代)
- ・コロナ感染者と接触した従業員を休職させ会社が給料をたてかえた。3カ月経過して運転資金にも困っている。(40代)
- ・区内の特養勤務ですが、いつ感染し、いつ感染源になってしまいか、と日々恐怖でしかありません。(40代)
- ・渋谷区長は何の発信もしませんが…。区長から気持ちが離れます。(70代)

●子育て支援・教育環境の充実について

- ・高校や大学の学費の負担も大きいので、高校生以上への支援も考えていただけると嬉しいです。(50代)

●国保など医療保険について

- ・国保料の額が大きすぎて、(コロナで収入がほとんどないので)どうやって今年、これから払っていけばよいのか心配です。(50代・夫婦と子ども二人)

●介護保険・高齢者福祉について

- ・収入が減り、生活を切り詰めているが、義母の老人ホーム代と義父の入院費は変わらず引き落とされるし、請求書は届く。預金を全く持ち合わせていない義父母の面倒を見るために、子どもの教育費を削らなくてはのかと考えると悩む。(50代)
- ・86歳の認知症の父の介護施設を探しています。特養の順番待ちが絶望的ということで、年金では入れる施設を他県まで手をひろげて探しています。(60代)

●コロナ禍のもとでの区政のあり方について

- ・ハロウィン、カウントダウン、おとなりサンデー?などイベントに予算を使うのではなく、コロナになる前の当たり前の日常生活を送れるよう予算を使ってほしい。(30代)
- ・今後人口が減少するのに大規模開発に喜んでいるような区長に不安を感じる。(50代)
- ・感染症対策の1丁目1番地は、検査→隔離→生活補償であることをコンセンサスにすべき。渋谷区では全く検査すらされていない。具体的な対応が全く見えない。恥ずかしい。(60代)

「くらし・区政アンケート」に、「ご協力をお願いします」
PCR検査拡大・くらし支援など、切実な願い続々

「GDP年27.8%減」。

内閣府が17日発表した今年4～6月期の国内総生産速報値は、実質前期比7.8%減、年換算27.8%と戦後最大の落ち込みとなりました。安倍政権による消費税10%増税に新型コロナ禍が追い打ちをかけています。GDPの半分以上を占める個人消費が前期比8.2%減をはじめ設備投資、輸出入とも軒並み減少しています。

個人消費の落ち込みの主な要因は雇用者報酬の減(3.7%減)、家計消費の落ち込み(30%以上減)です。社会経済活動と感染拡大防止を両立させるために、PCR検査等の抜本拡大と陽性者の保護、医療体制整備を緊急に進めるとともに、雇用を守り賃金を引き上げ、消費税を減税するなど家計消費を応援する政策の実現は待たないで。直ちに国会を開いて

て政府・与野党で英知を結集すべきです。

くらしの願いを区政に

日本共産党渋谷区議団が8月からとりくんでいる「くらし・区政についてのアンケート」に、大きな反響が寄せられています。(左掲参照)区民のくらしや営業にたいの切実な声と同時に、区政に対してもPCR検査の拡大、くらしや営業、子育て

支援や負担軽減、羽田空港新飛行ルート中止を求める声などがあふれています。

一方、長谷部区政に対しては、感染拡大防止や区民への支援が見えないことに怒りの声が上がっています。

このアンケートに託された声や要望は、9月9日から始まる第3回区議会定例会で実現を迫るとともに、2021年度渋谷区予算に反映させるために全力を尽くします。一人でも多くの区民のみなさんの声を区政に届けたいと思います。ぜひ、ご協力をお願いします。

住民ら、PCR検査拡大など求める署名1131人 (第1次) 分を区長に提出 さらに署名広げよう

渋谷社会保障推進協議会など住民らは8月6日、長谷部区長に対して、PCR検査の詳細な情報の公開と検査の抜本的拡大を要請しました。

参加者は、「区長は、区内2か所の感染症対策病院に加えて、区として1日20件まで検査を増やした。区内のクリニック30か所でも検査できる。世田谷モデルには批判的な意見もあるなどと語り感染拡大防止を積極的に進める姿勢が見られない。検査数も公表するとは言わなかった」として、さらに署名運動をひろげて、区の姿勢を変えさせたいと語っています。